

令和元年度事業実績書

団体名	嘉川自治連合会(嘉川地域づくり協議会)
-----	---------------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

人・まち・自然が輝き、安心・安全に暮らせ活力ある「嘉川のまちづくり」の推進

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	地域防災力の充実、強化及び地域住民の防災意識の高揚を図ります。		
	事業名	地域防災力の充実、強化	決算額	525,350
②	視点	地域住民や他地域へ自治連合会や地域諸団体の活動や地域情報を発信します。		
	事業名	地域づくり協議会広報事業	決算額	501,496
③	視点	地域の赤ちゃんから中学生までを「地域で育てる」という思いで、心豊かに育っていくことへの見守り支援をします。		
	事業名	子育て支援	決算額	180,000

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①自主防災本部の立上げ準備のため、嘉川地区防災計画検討協議会を開催し、自主防災組織設置(案)を策定し、防災への取組み体制の整備を行いました。また、小中学生を対象とした防災学習を開催し、避難の重要性や自分の命は自分で守ることの大切さを意識づけができ、小中学生の防災への関心の高まりが伺えました。	◎
②自治連合会(地域づくり協議会)の活動計画や地域内団体の活動状況などを紹介し、活動への理解を深めることができました。また、ホームページの開設により毎月1回、嘉川地域の情報を発信することができました。	◎
③今年も改めて子育て支援組織「しゅっぼっぼ」の活動を継続することの大切さを確認することができました。また、スタッフ・保護者・中学生とも協力的であり、中学生が命の大切さと両親への感謝の気持ちを持ってくれたと思えました。	◎

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

小中学生の防災学習などを実施し防災意識の向上に寄与できたと考えています。また、嘉川地域の魅力や活動もホームページなどを通じて発信できました。他に、今年も改めて子育て支援組織「しゅっぼっぼ」の活動を継続することの大切さを確認することができました。また、東西本郷コスモスウォーキングや酒粕スイーツ&料理開発など新たな活動により地域個性創出の展開が活性化しました。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	5,878,705	事務局
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数)	事務局長1人、事務局員3人
	(運営費の主な内容)	事務局人件費、事務費
	(成果・評価)	年間を通じて滞りなく事務局運営を行いました。
	(今後に向けて)	スムーズに事務局運営を行うため体制を強化していきます。

(2) 地域振興

事業名	ここにこ・ワイワイ広場等の整備	自治部会
事業費	356,315	
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>地域住民が集える場所として、登山コース、交流広場の整備をおこないました。また、休耕田にコスモスの種を播き、コスモスウオーキング等のイベントを開催し、東・西本郷の里山の紹介や地域住民の交流を図りました。</p> <p>禅定寺山(399, 2m)の登山コースの点検、草刈やロープの設置などを行いました。</p> <p>里山や休耕田を「里山交流活動の場」として利用するために、引き続き広場にコスモスや菜の花などの植栽を行いました。また、イノシシの防護柵施設を整えました。</p> <p>東・西本郷の里花いっぱい事業として、コスモスウオーキング、写真コンテスト、模擬店の開催などイベントを開催しました。</p> <p>(実施時期)</p> <p>3月13日(禅定寺山登山コースの維持管理)、通年(里山交流広場管理)、6月4日(コスモス)、11月5日(菜の花)(景観植物の植栽)、9月29日(コスモスウオーキング、イベント開催)、9月20日～11月20日(写真コンテスト)</p> <p>(参加者、人数)</p> <p>嘉川まちづくり委員会、東本郷自治会、西本郷自治会、嘉川元気会、嘉川地区青少年健全育成協議会、嘉川地区食生活改善推進協議会、嘉川自治連</p> <p>延べ参加人数 延べ 200人(うちコスモスウオーキング、148人)</p> <p>(成果)</p> <p>自然を愛好するウオーキンググループの行事が実施されるなど、里山を地域交流会の場として活用することが定着してきました。</p> <p>イベントの開催により住民の交流が活発になり、近隣地区からの参加もあって、里山としての関心が高まってきました。</p> <p>中山間地域の資源である景観、山菜類、果樹などが有効に利活用される契機となりました。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>地域住民の交流をより活発に行うことができるように、安全な登山ルート of 維持管理や里山の散策に資するルートマップの作成を検討します。</p> <p>山菜や果樹など、里山の地域資源の新たな利活用を研究します。</p> <p>イベントの開催により人的交流を高め、里山の維持に努めます。</p> <p>東・西本郷の里山の保全、利活用のあり方などについて総合的な研究に取り組みます。</p>	

事業名	あいさつ運動の推進	社会部会
事業費	58,960	
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>川西4校の「川西地区 あいさつ・こだまプロジェクト」や、地域内各団体と連携して活動の推進に取り組みました。また、川西中学校PTAを中心に行われている月始め一週間のあいさつ運動立哨活動に自治連も協力しました。</p> <p>(実施時期) 常時(あいさつ運動の活動)、通年(幟設置(常設))</p> <p>(参加者、人数) 自治連、各自治会、学校等、延 100人以上</p> <p>(成果)</p> <p>地区内の各自治会や多くの人が入り出りする交流センター、学校、駅前等に幟を建てることで地域住民等の、あいさつがし易い環境づくりをアピールすることができました。嘉川小、興進小、川西中の児童生徒や地域住民のあいさつ運動推進の意識が向上しました。</p> <p>(評価)</p> <p>各自治会、や駅周辺に設置した幟はとても目につきやすいものでした。以前に比べ生徒の登下校時における地区住民の方々との絆も生まれていると感じることができました。今後も関心を持ってもらえるように、幟の設置場所を工夫したいと思っています。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>温かく住みやすい地域づくりのために、種々の機会をとらえてあいさつ運動を進めます。今後も幟などの設置を活用して、生徒や地域住民の意識がより浸透するよう取り組みます。</p>	

事業名	花いっぱい運動の推進	社会部会
事業費	174,794	
事業概要	<p>(実施内容) 全地域に働きかけ夏・冬花壇用の花の苗・肥料・プランタ等を配布し、各自治会や子ども会、小中学校3校、おおぞら学級、しゅっぱっぱ、などで育成されました。</p> <p>(実施時期) 5月24日、11月15日(苗配布) 花の管理は各団体、各自治会で随時実施。</p> <p>(参加者、人数) 苗の配布(夏秋、冬)社会部会、1名、自治連事務局 4名 その他 1名 延 12名 花のお世話:子ども会、各自治会、各団体等 約150名</p> <p>(成果) 地域をあげて「花いっぱい運動」を推進し、環境美化の一助となりました。</p> <p>(評価) 夏花壇だけでなく、冬花壇にも取りくむ団体が少しずつ増えてきました。また、花による環境美化推進の意識が、地区民に徐々に浸透し始めたように思われます。</p> <p>(今後に向けて) 夏花壇・冬春花壇とも1年を通して花いっぱい運動に協力する地域や団体が増えてきました。今後もこの活動を推進し、花に彩られた街を目指したいと思っています。</p>	

事業名	嘉川の遺跡・史跡(文化財)の継承と環境整備等支援	社会部会
事業費	48,292	
事業概要	<p>(実施内容) 平成27年に嘉川自治連合会から発行された「ふるさと嘉川の遺跡・史跡」の小冊子をもとに、ふるさと探訪を勧めた結果、嘉川元気会を中心に嘉川遺跡巡りが年数回実施された。</p> <p>また、劣化箇所の補修を行い、標柱周辺の草刈りを行なった。</p> <p>なお、昨年山口市教育委員会(文化財保護課)が歴史文化財基本構想を策定、市内全域を調査することになり、嘉川地区は自治連合会(社会部)が調査を受託することとなった。その結果、新たな文化財(砂防堰堤群等)が見つかり、次回からの遺跡巡りの楽しみが増えた。</p> <p>(実施時期) 4月～3月遺跡探訪(随時)、6月、10月(標柱周辺の草刈り作業) 文化財の把握調査は、平成29年度から3か年計画で実施され、令和元年7月に終了した。</p> <p>(参加者、人数) 元気会他、地域住民を中心に他地域を含め 延250人</p> <p>(成果) 地域内の遺跡・史跡の探訪を目的とした元気会などのウォーキング計画が年数回実施され、嘉川地域以外の参加者とのコミュニケーションも育まれた。</p> <p>(評価) 嘉川の歴史に興味を持ち、冊子片手に身近に存在する遺跡・史跡に触れて観て、語り合っただけで巡ることができた。また、標柱周辺の環境美化にも寄与した。</p> <p>(今後に向けて) ふるさと嘉川の遺跡・史跡」の冊子を利用した、ふるさと探訪を勧めていきます。また、標柱が劣化したものについては、立替・補修を進め、関係自治会と協力して周辺の環境整備を図ります。</p>	

事業名	嘉川総踊り支援事業	社会部会
事業費	75,862	
事業概要	<p>(実施内容) 嘉川文化祭での総踊りを通じて、地域の世代間交流と地域住民の一体感の醸成を図るとともに、嘉川地域に伝承されている福島県白河地方の「白河踊り」を地域住民に伝えることができました。また、併せて「嘉川ふるさと音頭」も実施しました。</p> <p>(実施時期) 10月～11月（打合せ数回実施） 11月3日 総踊り（嘉川文化祭）</p> <p>(参加者、人数) 総踊り 約200人以上（見学者含む）</p> <p>(成果) 子供から大人まで、多くの踊り子が会場をあふれんばかりに参加し、和気あいあいとした雰囲気でした。地域住民の絆がより深まった時間帯でした。</p> <p>(評価) 戊申戦争の犠牲者を供養するため、福島県白河地方で踊られていた盆踊りを、嘉川伝承文化として恒例の嘉川文化祭で踊ることで、地域住民の一体感を醸成することができました。</p> <p>(今後に向けて) 嘉川で伝承されてきた「白河踊り」をこれからも多くの機会を利用して嘉川地域の活性化に役立てていきたいと考えています。また、「白河踊り」のDVDやCDを自治会などに貸し出し、継承に努めていきます。また、小中学校でも親しまれている「嘉川ふるさと音頭」も継続して実施していきます。</p>	

事業名	地域づくり協議会広報広報・ホームページ維持管理	社会部会・自治部会
事業費	501,496	
事業概要	<p>(実施内容) 地域づくり協議会に関する情報提供と地区内団体の紹介として広報紙を9月と3月に発行。各自治会の協力を得て全戸に配布しました。また、嘉川自治連合会の公式ホームページにより、嘉川の行事や魅力を発信しました。</p> <p>(実施時期) 4月～8月（協議会だより(9月号)編集委員会 4月～8月(5回開催)) 1月～3月(" (3月号)編集委員会 1月～3月(")) ホームページ記事 (毎月1回更新)</p> <p>(参加者、人数) 編集委員会10名*年間10回・ホームページ記事担当 延100人以上</p> <p>(成果) 地域づくり協議会の活動や地域内各団体等の活動状況などを紹介し、活動内容の理解を深めることができました。</p> <p>(評価) 嘉川地域づくり協議会の活動状況などを地域住民に知らせることで、嘉川の魅力や課題を共通理解し、これからの嘉川について考えるきっかけづくりとなりました。 また、地域住民の嘉川への想いやサークル活動などを紹介することによって、多様な情報提供もすることができたと考えています。</p> <p>(今後に向けて) 地域づくり協議会の活動内容はもとより、地域住民が関心の高い記事や情報を適格に収集し、どの様に提供するか工夫したいと思っています。</p>	

事業名	若者が集える場づくり事業	生活環境部会
事業費	301,274	
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>嘉川地域の子供達の間づくりとして子どもみこしを製作し、嘉川八幡宮秋季例大祭に参加や嘉川体育祭に参加をしました。</p> <p>(実施時期) 4月21日(嘉川地区体育祭)、9月8日(嘉川八幡宮秋季例大祭)</p> <p>(参加者、人数) 嘉川小学校、興進小学校 児童及び保護者 約160名</p> <p>(成果)</p> <p>子供達の元気な声、姿、また嘉川、興進両小学校の子供達の間で友人関係が生まれたと思います。また、嘉川、興進小、川西中の校長先生も参加されました。</p> <p>参加者どうし、保護者、見学者が一体になった、地域おこしのイベントになったと思います。</p> <p>(評価)</p> <p>子供たちや若者が活躍できる場を設け、自分たちが主人公であるという生きがいを持てたことはよかったですと感じました。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>子供や、大人の参加者をもっと増やし他の地域からの羨望の的になるようにして、子供達の想い出を作り寄与したいと思います。</p>	

(3) 地域福祉

事業名	健康や生涯スポーツへの支援	健康福祉部会
事業費	192,556	
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>ラジオ体操グループ、ウォーキンググループへの支援をしました。</p> <p>ニュースポーツ用具の購入しました。</p> <p>嘉川元気あっぷチャレンジへの支援をしました。</p> <p>地域スポーツ行事への支援をしました。</p> <p>(実施時期)</p> <p>年間を通して毎日(嘉川八幡宮ラジオ体操会、上嘉川ラジオ体操会)</p> <p>4月4日、5月29日、10月11日、2月25日(嘉川元気会地域探訪ウォーキング)</p> <p>毎月2回(上中野ウォーキングクラブ)</p> <p>スポーツ用具等の購入 ダーツ・とびなわ・血圧計</p> <p>6月19日、9月19日、11月13日、2月19日(嘉川元気あっぷチャレンジ)</p> <p>11月23日(嘉川グラウンドゴルフ大会)</p> <p>(参加者、人数)</p> <p>ラジオ体操グループ「嘉川八幡宮ラジオ体操会」 延べ 2,100人</p> <p>ウォーキンググループ「嘉川元気会」 延べ 200人 上中野ウォーキングクラブ 延べ 120人</p> <p>嘉川元気あっぷチャレンジ 参加者 延べ 100人</p> <p>嘉川地区親睦グラウンドゴルフ大会 24人</p> <p>(成果)</p> <p>それぞれの行事が定着し、会員や参加人数が増えました。</p> <p>引き続き嘉川元気あっぷチャレンジを行い健康づくりに取り組みました。</p> <p>嘉川地区親睦グラウンドゴルフ大会が定着し、お互いの交流の場になっています。</p> <p>(評価)</p> <p>スポーツを通して地域のつながりや体力づくりに貢献できました。また、今年も誰でもできる健康づくりの場が市の健康増進課の協力により実施できました。(元気あっぷチャレンジ)</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>これからも地域に根ざしたスポーツ活動や健康づくりの場が提供できるようにしたいと思います。</p>	

事業名	地域住民の交流や憩いの場づくりの推進・支援	健康福祉部会
事業費	90,000	
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>各サロンの活動の充実のため、講座の講師料や謝礼、イベントの経費等の支援をしました。また、サロンによっては、子ども会や老人会との多世代交流会も実施されました。</p> <p>各自治会やいきいきサロンに健康相談の案内をし、3地区で実施しました。</p> <p>(実施時期)</p> <p>7月～3月（各サロンの活動への講師料等の支援）</p> <p>赤坂地区 9月11日、干見折地区 9月20日、免地地区 3月10日（3地区 健康相談開催）</p> <p>(参加者、人数)</p> <p>各サロン年3～6回実施 1回平均20～30人位参加</p> <p>健康相談 赤坂地区(約25人) 干見折地区(約20人) 免地地区(約20人)</p> <p>(成果)</p> <p>サロンが地域に少しずつ浸透し、子ども会や老人会を含めた活動もあり参加人数も増しました。</p> <p>健康相談の参加者は多くなりました。ただし、尿検査は地区によって検査をする人が少なかったところがありました。</p> <p>(評価)</p> <p>サロンの活動の充実に貢献できました。</p> <p>健康づくりの講習を含め、山口市の保健婦さんによる、尿検査と健康相談があり関心が高まりました。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>各サロンの情報や交流の場を実施したい。(サロン交流会)</p> <p>来年度も3地区ぐらいで実施したいが、新しい地区の参加を勧めたい。</p>	

事業名	高齢者が安心して生活できる地域づくり	健康福祉部会
事業費	70,000	
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>単位老人クラブ(7クラブ)のスポーツの集いに支援をしました。また、嘉老連が主催して行う、地域の高齢者に呼びかけたスポーツの集いに支援をしました。</p> <p>見守り活動研修会(地区社協)の実施に支援しました。</p> <p>(実施時期)</p> <p>通年(各単位老人クラブの計画にあわせ実施。(7クラブ))、11月23日(嘉老連主催のカローリング大会)</p> <p>9月14日(見守り活動「茶話会」)</p> <p>(参加人数)</p> <p>単位老人クラブ 約150人、嘉老連カローリング大会 40人</p> <p>見守り活動研修会 50人</p> <p>(成果)</p> <p>軽スポーツを楽しむことを通して、会員どうし、高齢者どうしのつながりや親睦を深める事ができました。</p> <p>これから高齢化が一段と進むなか、より良い見守り活動を進めるため、小グループによるワークショップを 実施し、問題点・解決策等を各地区に持ち帰られる場となりました。</p> <p>(評価)</p> <p>「高齢者が本気でスポーツに打ち込む姿は大切だ」と感得できる数少ない場のひとつです。</p> <p>研修により見守り活動への理解を深め、問題点の解決に役立ちました。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>高齢者の軽スポーツによる交流を促進します。また、老人クラブへの加入を促す事業として、継続して実施したい。</p> <p>今後も年1回の研修会を開催したい。</p>	

事業名	子育て支援	健康福祉部会
事業費	180,000	
事業概要	<p>(実施内容) 放課後児童クラブの行事を支援しました。 中学生が乳幼児とその母親と交流する「ちびっ子大集合」を支援しました。 「しゅっぱっぱ」絵本遊具の補充をしました。</p> <p>(実施時期) 通年(放課後児童クラブ(おおぞら学級)、春休み(仲よし学級)) 9月9日、12日、17日(ちびっ子大集合) 通年(しゅっぱっぱ 開館日 毎週火曜日・水曜・金曜・第3土曜日) 11月 子ども館の畳み表替(平成30年度・令和元年度 2年間で終了)</p> <p>(参加者、人数) 放課後児童クラブ(おおぞら学級・仲よし学級)合計学童 約 65人 「ちびっ子大集合」 延べ 約 330人(中学生2年生と乳幼児、保護者、スタッフ) 「しゅっぱっぱ」 乳幼児・保護者・スタッフ 延べ 6,000人</p> <p>(成果) 放課後児童クラブでは長期休暇中の行事に対して効果的に支援ができました。 「いのちの学習」も長年の継続で中学校、保護者、スタッフとも協力的であり、中学生が命の大切さと両親への感謝の気持ちを持ってくれたと思います。 「しゅっぱっぱ」へ絵本やおもちゃの購入をし、遊びを豊かにしています。</p> <p>(評価) 今年も改めて子育て支援組織の活動を継続することの大切さを確認することができました。</p> <p>(今後に向けて) 地域独自の活動として一層の充実と深化を目指すとともに、子育て支援組織の充実に努めたい。</p>	

事業名	福祉に関するボランティア活動の推進・研修会への支援	健康福祉部会
事業費	80,000	
事業概要	<p>(実施内容) 中高生ボランティアサークル「きずな」の活動充実のための支援をしました。 ボランティア組織「みおつくしの会」の高齢者慰問活動のための作品づくりの材料費を支援しました。</p> <p>(実施時期) 4月～3月(「きずな」の活動 20回)、4月～3月(「みおつくしの会」の活動 12回)</p> <p>(参加者、人数) 「きずな」の活動 延べ 690人 スタッフ 延べ 160人 「みおつくしの会」の活動 延べ 350人 スタッフ 延べ 140人</p> <p>(成果) 「きずな」として地域の中で活動することで、充実感を味わい自分を磨き、活動を進めることができました。 「みおつくしの会」のスタッフ全員で老人ホームに出向き、ホームの方々と共に手作り作品を作成することで協力性ができました。</p> <p>(評価) 地域の皆さんに「きずな」を知ってもらい、また活用の場をいろいろと与えてもらうことができました。 「みおつくし」は、会員も若干増えており、年間を通して手づくりの品を作成して、お互いの連携を図りながら活動できています。</p> <p>(今後に向けて) 現存のボランティア活動の活性化と若い後継者づくりをしたい。</p>	

事業名	子どもと高齢者の世代間交流事業の推進と支援	健康福祉部会
事業費	40,000	
事業概要	<p>(実施内容) コミュニティ・スクール事業として、老人クラブ会員や地域の高齢者が小学校低学年児童と昔話や昔のあそびを通じて交流活動を行いました。</p> <p>(実施時期) 1月23日(興進小学校)、1月21日(嘉川小学校)</p> <p>(参加者、人数) 興進小学校(児童40人、老人クラブ会員15人)、嘉川小学校(児童65人、老人クラブ会員15人)</p> <p>(成果) 子ども達は昔の遊びや生活の話に興味を持って作業に遊びに取り組んでくれました。高齢者も子ども達から元気をもたらすことができました。</p> <p>(評価) 地域と学校を結びつける活動として、地域が学校を支援する活動としてコミュニティ・スクール事業は大切な活動のひとつとなっています。</p> <p>(今後に向けて) これからも昔話や昔の遊びを通じて、子ども達が地域の良さや伝統に関心を持ち、世代間交流や郷土への思いを深めてほしい。</p>	

(4)安心・安全

事業名	児童・生徒登下校時の安全確保等対策	自治部会
事業費	156,000	
事業概要	<p>(実施内容) 児童・生徒の登下校時における見守り活動を実施するとともに、これらを通じて通学路の安全点検を行いました。 見守り活動の輪がさらに広がっていくように、機会あるごとに呼びかけました。 引き続き、防犯灯の点検、工事中の迂回路等危険場所の点検、見回り等を行い、見守り用の帽子、半袖ブルゾン等の補充を行いました。 下高根地区1か所のカーブミラーの補修を行いました。</p> <p>(実施時期) 通年(見守り活動) 3月(カーブミラーの補修)</p> <p>(参加者・人数) 自治会、PTA、老人クラブ等 約100人</p> <p>(成 果) 児童・生徒が安全に登下校できました。また、統一した帽子、ブルゾンを着用して活動することで、地域住民にも活動がアピールでき安全対策につながりました。 カーブミラーの補修で交通が安全になりました。</p> <p>(評 価) 見守り活動を続けていることで、地域住民や児童・生徒の信頼関係が深まり、学校や保護者からも謝意が寄せられ、この活動は欠かせないものとして地域に深く根付いています。</p> <p>(今後に向けて) 宅地開発等構造物により道路事情も変化してきております、今後も見通しの悪い曲がり角等にカーブミラーの設置など安全対策施設の整備などに取組みます。 見守り活動は、関係諸団体にも参加を呼びかけて、今後とも地域の活動として継続していくことが大切と考えています。</p>	

事業名	地域防災力の充実、強化	自治部会
事業費	525,350	
事業概要	<p>(実施内容、実施時期、参加人数)</p> <p>地域住民の防災意識、防災力向上のため、地区防災避難訓練、小中学生対象の防災学習会、地区防災計画を策定して、「嘉川自治連合会自主防災本部」設置等の事業を行いました。</p> <p>防災避難訓練の実施</p> <p>下高根自治会・自主防災会と共催で、当地域で想定される災害に対応した住民避難訓練を実施しました。</p> <p>実施日:2月11日、対象地域:下高根地区自治会・自主防災会 62戸、参加者:約150名</p> <p>内容:避難指示、伝達(呼びかけ、消防車広報、市防災メール等)、本部設置、会議、防災講演会、非常食試食、防災グッズの紹介など</p> <p>防災学習会の開催</p> <p>(1) 小学校(4年生)防災学習会</p> <p>実施日:6月27日、参加者:嘉川小学校 27名+保護者27名</p> <p>実施日:6月28日、参加者:興進小学校 23名</p> <p>実施内容:大雨防災ワークショップ、ロープワーク、非常食試食の紹介等</p> <p>指導者:災害ボランティアかがわ、防災士、地域協育ネットコーディネーター</p> <p>(2) 川西中学校(1・2年生)防災学習会</p> <p>実施日:12月9日、参加者:1・2年生146名</p> <p>実施内容:防災講習会(警戒レベル、ガイドブックの使用法など)、非常食紹介</p> <p>指導者等:防災アドバイザー、地域協育ネットコーディネーター、自治連ほか</p> <p>地域防災リーダーの養成</p> <p>自治連の助成制度により受験料等を助成。山口県自主防災アドバイザー、防災士 1名受験</p> <p>嘉川地区防災計画検討協議会等を開催し、自主防災組織設置(案)を策定。 9月30日、11月6日、1月9日、2月13日(策定のための協議会等の開催) 「嘉川自治連合会自主防災本部」設置要綱(案)及び付帯要領等を策定し、理事会で承認されている。 また、来年度5月開催予定の総会に付議し、承認を得る予定となっている。</p> <p>防災資器材等の整備</p> <p>(成 果)</p> <p>災害の地域特性に応じた避難訓練等が地域の自主防災活動として実施されました。</p> <p>小中学校の防災学習は、学校と地域組織との連携した防災活動ができ、保護者の参加要請もあるなど防災への意識が高まってきました。</p> <p>自治連の自主防災組織として、自治会と連携する自主防災本部を設置することができました。</p> <p>(評 価)</p> <p>避難訓練では、自主防災会が自ら地域に応じた計画を作り実施したことから住民参加も増え、防災意識の向上につながりました。また、他地域への波及効果も期待されます。</p> <p>防災学習は、地域と学校が一体となって進める体制が整いました。</p> <p>自治連の自主防災組織の設置により、発災時の避難者対応、平常時の防災活動や自治会との連携など自治連合会としての防災への取組み体制が整備されました。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>今後、嘉川地域の防災活動は、令和2年度から稼働する「嘉川自治連合会自主防災本部」要綱に基づき、発災時と平常時ごとに対応し、自治連合会の内部組織として自治会・自主防災会とも連携しながら進めていきます。</p>	

事業名	高齢者等交通事故防止の向上	自治部会
事業費	22,600	
事業概要	<p>(実施内容) 高齢者等の交通事故防止と犯罪に巻き込まれないための啓発活動を実施しました。 嘉川地域住民全体、特に高齢者への啓蒙及び啓発活動として、交通事故防止、振り込め詐欺やうそ電話詐欺等の被害に合わないよう講演会を開催しました。</p> <p>講演・講師:「山口市の公共交通の現状と今できること」 山口市交通政策課長 尾中 孝 「交通事故防止と詐欺被害に合わないために」 少年安全サポーター 上利 優三</p> <p>(実施時期) 8月25日 (参加者・人数) 53名</p> <p>(成 果) 山口市の公共交通の現状等を知り、マイカーから公共交通への転換により、交通事故の加害者にならないように免許返納について考える機会が得られたと思います。 詐欺による被害者とならないよう日頃からの自覚が大切と認識されました。</p> <p>(評 価) 「私は違う」と言う根拠のない自覚を持たず、常に考え行動するヒントを得られました。</p> <p>(今後に向けて) 講演内容によっては、事前の案内が多くの人々の興味を引いていないようであり、今後、進めるにあたって、一人でも多くの参加者が増えるように、少し楽しい内容にしていくことが必要と思います。</p>	

(5)環境づくり

事業名	土木工事	建設振興部会
事業費	4,375,000	
事業概要	<p>(実施内容) 地元が行う日常生活道路や水路の補修工事等に対して、工事費を補助しました。 (実施時期) 6月(1次募集)、9月(2次募集) 募集後、建設振興部会で要望を審査し、地元関係者が工事を実施しました。</p> <p>(成果) 道路 2件、水路 4件 4,375千円</p> <p>(評価) 地域の要望に沿って事業実施でき、十分な成果があったと考えます</p> <p>(今後に向けて) 広く住民に利用していただけるように広報、周知を行います。</p>	

事業名	土木工事(法定外公共物原材料支給上乘せ)	建設振興部会
事業費	0	
事業概要	<p>(実施内容) 地元が行う日常生活道路の補修等に対して市から支給を受けられない場合、自治連から原材料の支給をしました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(成果) 今回は地元からの要望なし</p> <p>(評価) なし</p> <p>(今後に向けて) 今後も、地元にご利用していただけるように広報等で、周知を行います。</p>	

事業名	道路・河川・海岸の清掃活動、地域環境美化活動の推進	生活環境部会
事業費	287,632	
事業概要	<p>(実施内容) 地域をあげて、ゴミのない美しいまちづくりのため、一斉作業日を毎年11月最終日曜日と定め、大原インターチェンジ、岡屋インターチェンジ、今坂駐車場の清掃活動を実施しました。また、ボランティア活動団体に支援をしました。</p> <p>(実施時期) 11月24日</p> <p>(参加者、人数) ボランティア参加者、川西中ボランティアチーム『きずな』、スポーツ少年団、嘉川・興進小の先生及び児童、川西中の生徒 157名</p> <p>(成果) 参加人員は毎年減少をしています。ボランティア意識のない人が多い傾向となっています。小、中学校の児童、生徒の参加もお願いをしたところ、先生達は参加されたが、児童生徒達の参加は少なかった。部活、塾、習い事など、子どもも忙しいようです。しかしながら、清掃後は今年も非常にきれいになりました。</p> <p>ボランティア活動団体(嘉川クリーンクラブ、嘉川、興進小学校の芝生管理チーム)に各100本のお茶を支援をしました。</p> <p>個人で道路沿いの清掃活動を通年されている岡屋自治会伊藤さんを清掃活動表彰に推薦し、山口市快適環境づくり協議会において、6月に表彰されました。</p> <p>研修会については費用対効果のため、本年度中止としました。</p> <p>(評価) 環境美化という意識作りはもちろんのこと、清掃活動を通して地域住民との交流も深まり、情報交換の場としても効果があります。今回は小学生や中学生の参加が少なかったようでした。</p> <p>(今後に向けて) 子どもたちにも環境問題学習の一環として、今後も小・中学校の児童生徒に清掃活動参加の呼びかけを行い、小・中学校との連携を更に強化したいと考えています。</p>	

(6) 地域個性創出

事業名	地域産品・交流創出事業	自治部会
事業費	415,301	
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>小中学生を対象にした地産地消の料理教室の開催やウオーキング大会等のイベントで、特産品海苔鍋の試食、普及に務めました。</p> <p>地元で酒米を生産し、地元の蔵元で醸造した地酒「嘉穂の郷」を創り、10年目になりますが、本年度も良質な新酒ができました。また、酒米の田植え、稲刈りには、子どもからお年寄りまでが参加し、自然体験、交流を深めました。</p> <p>「嘉穂の郷」誕生10年目にあたり、住民の参加を募集し、記念式典を行いました。 表彰式、新酒の試飲と発表、創作酒粕料理の試食と発表</p> <p>「酒粕スイーツ&料理開発チーム」を立ち上げ、「嘉穂の郷」の酒粕を使ったスイーツや料理の試作を重ねて作品を開発し、10周年記念式典で 試食、発表しました。 開発スイーツ、料理:21点、実施者:山口市食生活改善推進協議会、講師:自然派フランス料理 ル・マカッサン 五十嵐 攻シェフ</p> <p>(実施時期)</p> <p>通年(小中学生料理教室(6回開催))、10月6日(中学生食育教室)、10月11日(3世代ウオーキング)、6月16日(田植え)10月13日(稲刈り)、2月22日「嘉穂の郷」10周年記念、6月～2月(酒粕スイーツ&料理10回開催)</p> <p>(参加者、人数)</p> <p>小中学生料理教室:延べ90人、中学生食育教室:200人、3世代ウオーキング:50人、田植え:120人、稲刈り:62人、「嘉穂の郷」10周年記念:80人、酒粕スイーツ&料理:80人</p> <p>(成果)</p> <p>小中学生の料理教室は、参加者も多く、定例行事として定着しました。 創作酒「嘉穂の郷」は、酒米生産から醸造まで一環生産体制ができました。 酒粕使用のスイーツ、料理は、専門家の指導も受け、試行のうえ各種のメニュー、料理が開発されました。</p> <p>(評価)</p> <p>料理教室は参加者も多く地産地消・食育普及の場として有効と思えます。 「嘉穂の郷」は、原材料から製品までの生産工程が概ね確立しました。 嘉川名産の一つ「酒」の副産物である「酒粕」の有効利用が期待できます。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>引続き小中学生の料理教室やイベントを開催し地産地消・食育活動に努めます。 「嘉穂の郷」は、嘉川の産品として、消費、流通拡大への取組みが今後必要です。 酒粕スイーツ・料理は試食やレシピを広め、嘉川のうまいものとして定着させたいと思います。</p>	

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。